

報告第18号

株式会社八重山食肉センター経営状況について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、次の事業計画及び決算に関する書類を作成したので報告する。

- 1 令和5年度（第51期）事業決算書
- 2 令和6年度（第52期）事業計画書

令和6年8月29日提出

石垣市長 中山 義 隆

## 第1号議案

### 第 51 期(令和 5 年度)事業報告書

#### 概 要

当期のと畜実績は、前期に対し牛 1,858 頭で 91 頭の増、豚 1,592 頭で 305 頭の増、馬 6 頭で 2 頭の増、山羊 419 頭 2 頭の減となっています。

新型コロナの収束に伴う観光産業の回復により、ここ最近における牛のと畜頭数は回復基調にあったが、全国的な牛肉需要の低迷により、本地域においても、JA石垣牛をはじめとする肥育牛の販売が苦戦する状況にあります。しかしながら、その中においても経産牛の販売については、比較的好調な伸びを示しています。

牛の部分肉加工においては、今期実績で 892 頭に留まり、率にして 48%となったが、未だ半分以上の枝肉が持ち出されている状況にあります。この改善策として、部分肉加工における担当職人の増員に早急に取り組む必要があります。

豚においては、農家戸数に変化はないが、施設の老朽化などにより当面の増頭計画は見込めないため、豚舎の建築支援など関係機関の取り組みが必要だと思われます。

山羊においては、石垣市山羊生産組合による石垣島山羊まつりの開催など、島内外への周知イベントがあったことから、今後の需要拡大に期待しているところです。

弊社の経営を大きく左右すると畜解体収入は、昨年の料金改定・石垣牛の内臓販売単価の見直しなどにより、売り上げの伸びはみられたが、未だ、厳しい状況にあります。光熱費など徹底した経費削減を心掛けるとともに、これまで以上に、施設の適正稼働に努め、さらに、新たな収益確保策として、県内外への肉の販売強化及び販路先の開拓などによる収益向上に取り組むことで、生産者と消費者を結ぶ食肉流通の拠点として、信頼を得られるよう運営してまいります。

機械設備においても、経年劣化による補修頻度が増えていることから、維持管理費の負担が増えることが考えられ、特に修繕が急がれる HACCP システム上必要とされるボイラーの取り換えについては、昨年度、石垣市からの補助により改修をしております。また、新たな輸出先国として見据える、台湾及びシンガポールが要求する背割り機及び消毒槽、その他の機械については、令和 5 年度 HACCP ハード事業により随時、導入及び機能向上の整備を進めており、令和 7 年 3 月末までの完了を目指し取り組んでおります。あわせて、病畜棟の改修工事も進めてまいります。

当期の売上高については、178,355,732 円となり、前期より 25,586,219 円の増となっております。内訳は、と畜収入が 36,068,407 円。石垣牛及びやいま牛の内臓処理収入は 36,492,224 円。カット収入については 38,219,121 円。その他の売上は 67,575,980 円で、内容として、牛皮及び牛脂の販売料、死亡家畜処理料、保管料及び各種証明書料などとなっております。

製造原価については、159,981,089 円であり、前期に比べ 8,864,970 円増となっております。燃料費は前年より 24,671 円の増、電気料は 1,915,060 円の減と節約の効果が出ています。売上総利益から販売費および一般管理費を差し引いた営業に係る損失は、41,655,566 円となり、前期に比べ 6,263,708 円減っています。熟成肉や独自取り組み事業等の営業外収益及び特別利益の合計については、前期から 13,076,013 円の減となり、31,796,119 円となっております。

経常損失及び当期純損失は 10,585,325 円となり、今期においても経営改善は適わず、赤字計上となっております。

しかしながら、これまで懸念事項とされていた職員給与の改定や一部の滞納整理が実施できたことは、経営改善を進める一歩が踏み出していると捉えているところです。

畜産農家の高齢化や後継者不足が深刻化していることに加え、飼料価格の高騰や市場価格の変動など畜産業を取り巻く厳しい状況が続いているが、弊社としましても、これまで以上の諸経費の節減に取り組むことで、食肉センターの健全な運営に努めるとともに、内部監査の実施により徹底した衛生管理基準等の遵守やHACCP体制の運用を進めてまいります。

加えて、現在、取り組んでいる海外輸出についても、マカオ向けに 4 月・5 月に約 100 ㌔、タイ向けに 5 月、約 28 ㌔、6 月、約 28 ㌔を出荷しており、順調に推移しておりますので、今後も、新たな輸出先国である台湾及びシンガポールの認証取得ができるよう、関係機関との連携を綿密に図るとともに、輸出量を増やせるよう鋭意取り組んでまいります。

株式会社 八重山食肉センター  
代表取締役 中山 義隆 殿

## 監 査 報 告

監査役は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第51期事業年度の職務執行を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

### 3. 監査の方法

私たちは、取締役会に出席するほか、総務部長等からその職務の執行状況を聴取し、業務及び財産の状況を調査して、事業の報告を求めました。また、会計帳簿等の調査を行い、当該事業に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本）等について検討しました。

### 4. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び事業活動の状況並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 取締役の職務執行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和6年6月24日

株式会社 八重山食肉センター

監査役

監査役

第 5 1 期

# 決 算 報 告 書

令和 5 年 4 月 1 日 から

令和 6 年 3 月 3 1 日 まで

株式会社 八重山食肉センター

(法人番号:8360001013197)

# 貸借対照表

商号 株式会社 八重山食肉センター

代表者 中山 義隆

令和 6年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I (資産の部) 流動資産	( 39,788,456 )	I (負債の部) 流動負債	( 45,460,459 )
現金及び預金	5,256,205	買掛金	6,169,499
未収金	25,024,592	未払掛金	35,597,060
立替金	12,520	未払法人税等	180,000
層蓄等未収金	9,495,139	未払消費税	2,071,900
		未払り	1,442,000
II 固定資産	( 50,450,040 )	II 固定負債	( 166,269,506 )
有形固定資産	( 36,778,744 )	長期借入金	166,269,506
建物	25,857,632		
構築物	1,861,021		
機械及び装置	5,731,306		
車両運搬具	2		
工具、器具及び備品	3,328,783		
無形固定資産	( 574,828 )		
ソフトウェア	445,648		
電話加入権	129,180		
投資その他の資産	( 13,096,468 )		
出資	10,000		
保険積立	6,558,560		
長期未収入金	6,527,908		
		負債の部合計	211,729,965
		(純資産の部)	
		I 株主資本	( -121,491,469 )
		1. 資本金	13,350,000
		2. 資本剰余金	( 0 )
		3. 利益剰余金	(△) 134,841,469
		(1) その他利益剰余金	( -134,841,469 )
		繰越利益剰余金	△ 134,841,469
		II 評価・換算差額等	( 0 )
III 繰延資産	( 0 )	III 新株予約権	( 0 )
資産の部合計	90,238,496	純資産の部合計	-121,491,469
		負債・純資産の部合計	90,238,496

# 損益計算書

令和 5年 4月 1日から  
令和 6年 3月31日まで

商号 株式会社 八重山食肉センター

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売上高 屠殺収入 内臓処理事業 カソンの他 ソ 収 入 上	36,068,407 36,492,224 38,219,121 67,575,980	178,355,732	178,355,732
II 売上原価 当期首棚卸製造原 当合期末棚卸 期売上総利益	0 159,981,089 159,981,089 0	0 159,981,089 0	0 159,981,089 0
III 販売費及び一般管理費 販費及一般管理 営業費損失	60,030,209	60,030,209	60,030,209 41,655,566
IV 営業外収入 受雑業取収 雑業取収	15 3,176,904	15 3,176,904	15 3,176,919
V 営業外費用 支払外利 支払外利	545,878	545,878	545,878
経常損失			39,024,525
VI 特別利益 補助金収入	28,619,200	28,619,200	28,619,200
VII 特別損失 特別損失	0	0	0
税引前当期純損失 法人税、住民税及び事業税 当期純損失		180,000	10,405,325 180,000 10,585,325

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 5年 4月 1日から  
令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
広 告 宣 伝 費	636,000
給 与 手 当 与 費	14,039,042
賞 与 手 当 与 費	1,588,200
法 定 福 利 費	4,273,261
福 利 厚 生 費	51,464
減 価 償 却 費	7,252,449
リ ー ス 料 費	1,449,104
修 繕 費	4,764
備 品 消 耗 品 費	382,369
通 信 交 通 費	2,930,553
租 税 公 課	12,812,246
事 務 用 消 耗 品 費	318,391
保 険 料 費	1,011,496
研 究 費	2,298,310
管 理 諸 費	1,573,463
支 払 手 数 料	8,040,029
施 設 委 託 料	1,320,000
雑 費	49,068
合 計	60,030,209

製 造 原 価 報 告 書

令和 5年 4月 1日から  
令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目		金 額
I 材 期 部 合 期 当	料 費	
	首 材 料 棚 卸 高	0
	分 肉 仕 入 高	35,933,446
	計	35,933,446
末 材 料 棚 卸 高	期 材 料 費	0
		35,933,446
II 労 賃 賞 法 福 当	務 費	
	賃 金	43,233,643
	賞 与	5,196,000
	法 定 福 利 生 務 費	9,460,732
	当 期	427,636
		58,318,011
III 経 残 焼 電 燃 水 減 り 修 租 賃 支 工 当 期 合 期 当	渣 運 搬 費	6,000,000
	却 却 分 費	5,093,358
	電 力 料 費	25,060,893
	燃 料 費	10,116,990
	水 道 光 熱 費	2,616,360
	減 価 償 却 費	1,906,303
	り 一 ス 料	29,000
	修 繕 費	1,866,083
	租 税 公 課	1,707,570
	賃 借 料	356,193
	支 払 格 付 料	2,332,930
	工 場 消 耗 品 費	8,643,952
	当 期 経 費	65,729,632
	期 首 仕 掛 品 棚 卸 高	159,981,089
	合 計	0
	期 末 仕 掛 品 棚 卸 高	159,981,089
当 期 製 品 製 造 原 価	0	
	159,981,089	

## 第2号議案

### 第52期(令和6年度)事業計画(案)

処理計画に基づいた頭数の確保は弊社の運営を左右する極めて重要な要素ですが、昨今の国際情勢の変化や環境問題、SDGsの浸透などが消費者の志向に影響を与え、畜産物に対する消費者の価値観にも変化の兆しが見受けられており、畜産物の需給が大変苦戦している状況にあります。しかし、このような情勢の中においても、生産者の方々の並々ならぬ努力により、高品質の食肉が安定的に供給され、流通業者の方々においても、それらの食肉を多くの消費者のもとに行き届くよう販売努力を重ね流通させていただいております。

本年度においては、ブランド肥育牛は昨年実績頭数から大幅に増頭が想定されているため、関係機関と綿密に連携し、国内市場における販路拡大にさらに力を入れることや海外市場への取り組み及び地域内での消費促進に力を入れたいと考えています。あわせて、経産牛販売やふるさと納税の返礼品としての氷温熟成肉の販売など事業の多角化にさらに力を入れ、拡大したいと考えています。

豚においては、出荷体制の改善により、コンスタントに出荷ができるよう調整を図っているが、全体的な飼養頭数が維持傾向にあるため、昨年度並みの頭数を見込んでおります。

一方、山羊においては、山羊改良事業や石垣島山羊まつりなどの効果により、若干の増頭が見込まれるところです。

今年度においては、HACCPハード事業により、と畜場生産機械の機能向上工事が予定されているため、新たに目指す輸出先国のHACCP基準を満たすよう、事業主体である石垣市と連携して、速やかかつ安全な整備を進めるとともに、HACCP監査員による現場担当者の衛生指導などに力を入れたいと考えております。

当面、経営を取り巻く環境は厳しい状態が続くことが想定されるため、光熱費など徹底した経費削減を心掛けるとともに、これまで以上に、施設の適正稼働に努め、また、肉の販売強化及び販路先の開拓などによる収益向上に取り組むことで、生産者と消費者を結ぶ食肉流通の拠点として、信頼を得る会社運営に努めてまいります。

## 損益計算書(案)

自 令和6年 4月 1日

株式会社八重山食肉センター

至 令和7年 3月31日

科 目	金 額(円)	備 考
売上高	245,428,943	
と 殺 収 入	75,970,843	と畜解体料と残渣処理費用
内 臓 販 売 高	61,460,100	石垣牛の内臓販売費
カ ッ ト 収 入	66,798,000	
そ の 他 売 上	41,200,000	
売上原価	163,591,496	
当期製品製造原価	163,591,496	
売上総利益	81,837,447	
販売費及び一般管理費	54,854,136	
営業利益	26,983,311	
営業外収益	3,001,000	
受 取 利 息	1,000	
雑 収 入	3,000,000	
営業外費用	86,000	
支 払 利 息	85,000	
雑 損 失	1,000	
経常利益	29,898,311	
税引前当期純利益	29,898,311	
法人税・住民税・事業税	180,000	
<b>当期純利益</b>	<b>29,718,311</b>	

## 製品製造原価（案）

株式会社八重山食肉センター

自 令和6年 4月 1日

至 令和7年 3月31日

科 目		金 額 (円)	
材 料 費		35,000,000	
1	内 臓 仕 入 高	35,000,000	
労 務 費		60,150,000	
1	賃 金	45,000,000	
2	賞 与	5,200,000	
3	法 定 福 利 費	9,500,000	
4	福 利 厚 生 費	450,000	
製 造 経 費		68,441,496	
1	残 渣 運 搬 料	6,000,000	
2	焼 却 処 分 費	6,000,000	
3	電 力 費	26,500,000	
4	燃 料 費	10,000,000	
5	水 道 光 熱 費	2,700,000	
6	管 理 諸 費	1,500,000	
7	減 価 償 却 費	1,900,000	
8	修 繕 費	1,900,000	
9	共 済 掛 金	1,011,496	
10	旅 費 研 修 費	300,000	
11	車 両 関 連 費	125,000	
12	支 払 格 付 料	2,500,000	
13	工 場 消 耗 品	8,000,000	
14	雑 費	5,000	
総製造費用		163,591,496	
当期製品製造原価		163,591,496	

## 販売費及び一般管理費（案）

自 令和6年 4月 1日

株式会社八重山食肉センター

至 令和7年 3月31日

No	科 目	金額（円）	備 考
1	支 払 運 賃	0	
2	役 員 報 酬	0	
3	役 員 賞 与	0	
4	給 料 手 当	15,000,000	
5	賞 与	1,700,000	
6	法 定 福 利 費	4,300,000	
7	福 利 厚 生 費	60,000	
8	減 価 償 却 費	7,000,000	
9	リ ー ス 料	1,449,104	
10	地 代 家 賃	356,195	
11	消 耗 品 費	800,000	
12	通 信 交 通 費	1,350,000	
13	修 繕 費	1,326,000	
14	租 税 公 課	8,256,300	固定資産税
15	接 待 交 際 費	2,000	
16	保 険 料	1,849,037	
17	管 理 諸 費	1,975,500	
18	会 議 費	10,000	
19	支 払 手 数 料	8,040,000	
20	施 設 委 託 料	1,320,000	
21	雑 費	60,000	
<b>販売費及び一般管理費</b>		<b>54,854,136</b>	

## 令和6年度歳入算出根拠資料(案)

### と殺料（残渣処理料等含）

種 別	頭数	単価	金額（円）
肥 育 牛	1,227	32,829	40,281,183
老 廃 牛	800	28,979	23,183,200
豚	1,350	6,718	9,069,300
山 羊	450	7,345	3,305,250
馬	5	26,382	131,910
合 計			75,970,843

### カット料

種 別	頭数	単価	金額（円）
肥 育 牛	800	58,185	46,548,000
老 廃 牛	500	40,500	20,250,000
合 計			66,798,000

### 内臓販売収入

種 別	頭数	単価	金額（円）
石 垣 牛	927	66,300	61,460,100
合 計			61,460,100

### その他の売上

種 別	金額（円）
牛皮、牛脂	4,000,000
死亡家畜処理	4,000,000
保管料	3,200,000
そ の 他	30,000,000
合 計	41,200,000

年度	と畜数	石垣牛	やいま	美崎牛	きたうち	肥育牛	老廃牛
平成30年	1,648	755	56	310	78	1,199	449
令和元年	1,709	794	23	342	64	1,223	486
令和2年	1,534	842	13	289	49	1,193	341
令和3年	1,562	736	10	362	57	1,169	393
令和4年	1,762	798	11	372	56	1,237	525
令和5年	1,856	784	29	373	67	1,083	773
令和6年想定	2,027	927	30	370	65	1,227	800

カット料金 135円

内臓料金 150円

枝重量 442キロ

カット率 64.10%